

みねざき拓実は
こんな活動をしてきました



青梅には 「コミバス」がない なぜ?

多摩26市のほとんどでコミュニティバスが走っていますが、市は都バスなどの赤字負担を理由に、一度は計画までつくったコミュニティバスの運行を実施していません。

乗ってみると…

私は、羽村市の「はむらん」やあきる野市の「るのバス」など、近隣の町を視察。実際に乗車してみた入間市の「ていーわごん」(ワゴン車型)は、スーパーや駅、市の施設などを細かくつないでいて、「これは便利!」と実感!

これは
便利!



入間市の「ていーわごん」

「コミバス」 「ワゴン車」を

と提案!

市議会では、これらの経験とともに、「運転免許を返納したくても決断できない」といった市民のみなさんの声を紹介し、コミュニティバスなどの公共交通の充実を求めてきました。



みねざき 拓実 議員

市は新たに「交通政策課」を設置 やっぱりコミバスは必要です

市は2023年度に「交通政策課」を設け、一部地域では補助的な交通手段の検討など、前向きな動きもありますが、市全体の動きにすることが必要です。とりわけ、その柱となるコミュニティバスの実現はどうしても必要だと考えています。

補助的な交通も「組み合わせ」で

近年、坂のある場所や限られた範囲での輸送手段として、補助的な交通手段が導入されている自治体があります。青梅市でも体験イベントが行われましたが、「大通りを走るのには難しいのでは」などの課題があるようです。

さらなる研究とともに、このような取り組みを有効にするためにも、公共交通の柱となるコミュニティバスの運行を急ぐべきです。



体験イベントで使われた車両

学校のトイレ 視察しキレイに

キレイになった吹上小のトイレ



工事前の吹上小トイレ

トイレ改修がなかなか進まなかった青梅市。共産党市議団は学校を視察し、改善を求めました。現在は工事が進み、23年度には計画された25校の工事が完了する見通しとなりました。

みねざき 日本共産党 拓実

青梅市議会議員

プロフィール

- 1975年旧秋川市生まれ●青梅市立第三小・第三中、青山学院大学卒業●元東京土建一般労働組合書記、元民主商工会事務局長●2015年より青梅市議会議員2期8年●家族は両親●趣味はソフトボール、ゴルフ、登山、散歩、将棋
- 市議会での現在の所属
- 議会運営委員会●環境建設委員会
- 総合病院建替特別委員会●予算決算委員会

日本共産党青梅市委員会は、上記の見解を発表しました。

青梅民報

3号外

2023年3月10日発行
発行責任者 青藤 光次
青梅市野上町 1-54-1

お困り
ごと

なんでも相談

070-5590-6081

明星大学跡地購入計画 「ひとまず」ストップ

市は明星大学青梅キャンパスの跡地を購入し、総合体育館や自立センターなどの公共施設を移転するなどの「案」を示し、今年度末に結論を出すとしていました。

しかし、市民からは「**大きすぎるし、不便な場所**」などの不安の声があがっていました。

「目的も不明確、撤回を」と求めてきました

私はこの問題について、市議会で「目的も不明確であり、撤回を」と求めていました。市長は、昨年12月の市議会において、「来年度以降の判断とする」旨を表明しました。「ひとまず」購入をストップさせることが出来ましたが、明確に「撤回」したうえで今後の対応を協議するべきです。

私の政治の原点は
「戦争反対」です。

日本共産党

青梅市議会議員 **みねざき 拓実**

私の政治の原点は「戦争反対」です。岸田政権は「軍事費」に5年で43兆円も使って、他国の基地を直接攻撃できる兵器を持つとしています。「反撃能力」と言ってごまかしていますが、日本がアメリカと一緒に初めて攻撃を仕掛けることを想定しています。

アメリカのために他国と戦争しても得るものは無く、失うものは計り知れません。しかも、国民の暮らしに使うはずの税金を兵器購入に回し、国民には増税と社会保障の削減を押しつけるのです。アメリカのために私たちの生活をどれだけ犠牲にするのかと怒りを感じます。

アメリカに「ノー」と言って、外交力を高めて近隣諸国と仲良くすれば、多くの税金を暮らしに使うことが出来ます。私は、アメリカとは対等な「真の友人」の関係になり、戦争のない世の中を作るために、平和憲法をいかしていくことこそ必要だと考えています。

子どもが元気に！
お年寄りも安心！

暮らしと健康を支える

3つの提案
日本共産党
青梅市議団

- 子どもが元気に
- 1 学校給食を市の補助で充実させ、さらに給食費の無償化へ
 - 2 学校の老朽化対策を促進させ、統廃合の方針は見直しを
 - 3 市内3か所に児童館の建設を

- 高齢者も安心
- 1 コミュニティバス、タクシー利用の補助を実現し、足の確保を
 - 2 補聴器の購入に補助制度を
 - 3 市内3か所に高齢者センターを建設し、「お風呂」の復活を

青梅市 年 **9.6億円の黒字**
95億円の基金

財源は十分にあります

2017年～21年の市財政は、平均すると9億6千万円/年の黒字でした。また、2021年度には、市の基金(財政調整基金と公共施設整備基金)が1年間で約1.5倍に増え95億円に達しています。市議団の上記の提案は、すべて実行しても年間の経常経費が3億6千万円ですから、財政は十分にあります。すぐにも実行させましょう。

岸田政権

が狙う

大軍拡・大增税「許すな！」この声を今あげよう